

令和4年度 第1回瀬戸市下水道事業経営審議会議事要旨

- 1 会議名：令和4年度 第1回瀬戸市下水道事業経営審議会
- 2 開催日時：令和4年7月29日（金） 午後1時30分～午後3時
- 3 場所：瀬戸市役所 北庁舎5階 全員協議会室
- 4 出席者：＜審議会委員＞出席6名（オンライン参加1名）、欠席0名
磯部友彦（中部大学 工学部 教授）
齊藤由里恵（中京大学 経済学部 准教授）
稲垣孝幸（瀬戸商工会議所 副会頭）
伊藤勉（瀬戸市自治連合会 会長）
加藤勝之（瀬戸市社会福祉協議会 会長）※オンライン参加
服部富久美（瀬戸消費生活クラブ生活学校 会長）
＜事務局＞
都市整備部長 大森雅之
都市整備部下水道課課長 鈴木和宏
都市整備部下水道課主幹 大羽健志
都市整備部下水道課課長補佐兼管理係長 村上洋行
- 5 傍聴人数：1人

6 議事

- (1) 瀬戸市下水道事業経営戦略の進行管理について
- (2) 課題の整理及び今後の審議について

- ・議事に先立ち、伊藤保徳市長から開会のあいさつがなされた。
- ・委員の互選により、会長に磯部友彦委員、副会長に齊藤由里恵委員が選出された。
- ・会長による会議進行のもと、事務局より資料の説明を行い、その後、意見交換を行った。意見については、以下のとおり。

<議事内容>

- (1) 瀬戸市下水道事業経営戦略の進行管理について

【事務局】資料2「瀬戸市下水道事業経営戦略 令和3年度（2021年度）進捗状況報告書」及び資料3「令和3年度瀬戸市下水道事業決算（概要）」に基づき説明。

【委員】経費回収率について、適正な使用料収入の確保が必要であるとの分析がなされているが、現在の下水道使用料はいつ設定されたものか。
また、今後の見直しについてどのように考えているか。

【事務局】現行の下水道使用料は平成12年12月に改定後、消費税率の変更を除き

変更していない。

本審議会の中で適正な使用料水準についても議論を進めていきたいと考えている。

【委員】水洗化率を高めていくことは、環境や経営の側面からも重要であるが、公共下水道への切り替えについて、高齢者や障がい者世帯への支援策はあるのか。

【事務局】高齢者や障がい者に限定した支援策ではないが、汲み取り便所や浄化槽からの改造工事について、「改造資金の融資あっせん制度」がある。

【委員】経費回収率の算出における下水道使用料、汚水処理費は資料3裏面のどの数値か。

【事務局】下水道使用料は営業収益の下水道使用料である。汚水処理費は営業費用の管渠管理費、処理場管理費、減価償却費等から公費負担分を除いたものである。

【委員】議論を行うにあたり、歳入と歳出の内容について詳細な資料を示してほしい。削減すべき歳出の具体的な費目が解るように詳しく説明してもらわなければならないと検討ができない。

また、総借入額や年間の返済額などが解るバランスシートなどの資料も示してほしい。今後の施設の更新工事や面整備にかかる費用や年数など具体的な数値の見込みについても踏まえたいと議論をしていくことが必要である。

【事務局】次回審議会において、決算に係る詳細な資料を報告する予定である。

また、今後の歳出の見込みである投資計画についても詳細を説明させていただく。

【副会長】説明の中で経営については健全であるとの分析がなされているが、経常収支比率の算出において営業外収益が多く、一般会計からの補助金などが含まれている。瀬戸市として経営の健全性の度合いとしてどこを目指すかが重要である。経営指標としては健全であると評価しているが、瀬戸市としてどのような判断をしているか、次回以降、議論していきたい。

また、資産のほとんどは管渠だが、設備や機器など耐用年数20年ほどの資産について、どのような状況か次回以降教えてほしい。

【事務局】経営の健全化については、一般会計からの基準外繰入金について整理を進めていきたいと考えている。管渠以外の資産の状況についても、次回以降、資料をお示ししたい。

【委員】市民にとって下水道接続の必要性が解りにくい。

また、上下水道料金のそれぞれの請求額が利用者に解りやすいとよい。

【事務局】下水道への接続は、生活環境の改善や水質の保全につながるほか、浄化槽の維持管理費用が不要になるなどの利点があるので、下水道への接続をお願いしたい。

また、検針時にお渡しする検針票に水道料金と下水道使用料の内訳が記載

してあるのでご確認いただきたい。

- 【委員】下水道接続の利点をもっと市民に理解してもらえるような説明や数値を示してほしい。
- 【事務局】下水道事業への理解を深めていただくことが、水洗化率の向上につながるものと考えているので、理解促進への取組みを進めていく。
- 【委員】菱野・水野団地の下水道管の老朽化対策や費用について教えてほしい。
また、塩草地区に下水道は整備されているか。赤津地区の整備の予定はどうか。
- 【会長】瀬戸市は都市計画事業として区画整理に取り組んでいるが、区画整理を行った区域には下水道が整備されているのか。
- 【事務局】下水道管渠の老朽化対策については、菱野・水野団地は全路線調査済みであり、今年度からストックマネジメント修繕改築計画に基づき優先順位を明確にして補修工事を行う。経営戦略において、費用は年間約6千万円を予定している。
区画整理区域は塩草地区も含め、全て下水道は整備済である。赤津地区の整備時期は未定である。
- 【会長】瀬戸市は複雑な地形であるが、下水道整備にあたりどの部分が難しいのか教えてほしい。
- 【事務局】行政規模に対し、2つある処理場の増設やメンテナンスに費用が掛かる。また、未普及地域の整備も進める必要があり、建設費用、維持管理費用の増大が瀬戸市の地形的な特徴による課題である。

(2) 課題の整理及び今後の審議について

- 【事務局】経営指標に基づく経営分析の結果や今後の社会情勢を鑑みると、「経営の健全性」の確立と「経営の効率性」の向上について、早急な対応が必要であると考えます。
優先して対応すべき課題として、下水道事業としての持続可能性と将来にわたり住民サービスを確保するための「経営基盤の強化」であると考えており、今後は、この「経営基盤の強化」に向けた「収益の安定的な確保」を中心とした議論を進めていきたい。
具体的には、「収益の安定的な確保」や「一般会計繰出金への依存度の引き下げ」などについて、より詳しく現状の分析を進め、これらの課題への対応について議論を行いたい。
- 【委員】経営指標の分析結果に基づき、経営基盤の強化に向けた議論を進めていくことに異論はないが、市民目線から見ると、下水道事業は重要なインフラ施設であることから、一般会計繰出金への依存度を引き下げてまで下水道事業を独立会計にする必要性が解りにくい。その部分を解りやすく示したうえで議論を進めていく必要がある。
- 【会長】下水道事業が公営企業会計に移行した趣旨も解るように議論していく。

7 その他

今後の審議会の日程について

次回の開催は、令和4年10月を予定しており、改めて日程調整を行うこととする。

8 閉会